



3学期は、「読むこと」にチャレンジ！

1学期は「やりとり」、2学期は「書くこと」に取り組んできました。3学期は、「読むこと」に挑戦していきます。「書くこと」「読むこと」は、新学習指導要領で新たに入ってくる内容です。今回は、学習指導要領に書かれている目標を確認します。

【「知識及び技能に関わる外国語科の目標」】

(1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づき、これらの知識を理解するとともに読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

中学年：外国語活動で外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。



これらを踏まえて、

高学年：「読むこと」「書くこと」を加え、教科としても段階を進める。

ただし、「読むこと」「書くこと」については、中学年の外国語活動では指導しておらず、慣れ親しませることから指導する必要があり、「聞くこと」「話すこと」と同等の指導を求めるものではないことに留意する必要がある。

(中略)

そこで、「読むこと」「書くこと」に関しては、英語の文字の名称の読み方を活字体の文字と結び付け、名称を発音すること、・・・

(小学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語活動・外国語編P70より)

【「思考力、判断力、表現力等に関わる外国語科の目標」】

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

「推測しながら読む」とは、中学年から単語の綴りが添えられた絵カードを見ながら何度も聞いたり話したりしてその音声に十分慣れ親しんだ単語が文字のみで提示された場合、その単語の読み方を推測して読むことを表している。また、場面などを活用して読むことも考えられる。

(小学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語活動・外国語編P72より)

【「学びに向かう力、人間性等に関わる外国語科の目標」】

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

「他者に配慮しながら」とは、

中学年：「聞くこと」「話すこと」を中心にコミュニケーションを図る体験



↳ 対象：目の前にいる「相手」

高学年：「読むこと」「書くこと」も扱う

↳ 対象：目の前にいる「相手」とは限らない。

(小学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語活動・外国語編P74より)